

# 新たな道 音楽で切り拓く

小学校の音楽室にダンスミュージックが響き渡る。「リズムを全身で感じよう」。児童たちの体が大きく動き出す。電子楽器やiPad（タブレット）など、最新のテクノロジーを活用したオリジナルの授業だ。授業後は児童たちに囲まれ、一人一人とハイタッチ。「音楽にはいろんな楽しみ方があると伝えたい。子どもたちの目が輝く瞬間に、やりがいを感じます」

ミュージシャンとして電子打楽器にこだわり、独自の演奏スタイルを築いてきた。世界中の打楽器の音が出せる電子パーカッション「ハンドソニック」は開発から携わり、奏者としても世界的に注目される。「開発者の遊び心を感じて想像力をかき立てられ、これまでにない演奏スタイルを生み出せる」と楽器の魅力を語る。

仙台市で生まれ、小学五年で仙台ジュニアオーケストラに入団。「将来は公務員」といわれるほど真面目だった。当時、テレビで見たX JAPANのY

## 天職 ですか

### ミュージシャン・教育家

MASA Kingさん (38) =横浜市



電子打楽器を使って小学校で授業を行うMASA Kingさん=横浜市旭区で

OSHIKIさんに衝撃を受けた。繊細なクラシックピアノの演奏と、ロックの高速ドラム演奏。二つの世界の壁を自分も壊してみたいと憧れ、ドラムを始めた。

教員だった祖父の影響で宮城教育大に進み教員免許を取得した。上京後、二〇〇四年に音楽とお笑いを融合させたユニット「ノーボトム！」でメジャーデビュー。

ビュ。当時は、音楽を追求したくてコントやダンスといったお笑いには躊躇があった。リーダーだった古坂大魔王さん（ピコ太郎プロデューサー）の一言が忘れられない。「そんなじや平成のドリフターズになれない！」。どんな時も目の前の顧客を全力で楽しませると心に決めた。日本武道館でも学校の教室でも。



©SUMMER SONIC All Copyrights Reserved.

ピコ太郎さんと共演するピコツァ・鈴木・セブラーノさん 毎週千葉市美浜区で

本格的に出張授業を始めて、今年で八年目。東日本大震災直後、仙台市内の小中学校を訪れた。児童たちの無邪気な笑顔に涙があふれ、「全国の子どもたちに音楽の楽しさを伝え続ける」という決意が芽生えた。

「音楽は人生を豊かにし、人と人をつなぐ力がある。ミュージシャンと教育家という二つの道を行き来する生き方を切り拓き、後進につなげていきたい」

文・佐藤あい子  
写真・朝倉豊

●メモ 伝統と革新の融合を目指し、琴や和太鼓などともコラボ。教育を絡めた音楽イベントのプロデュースにも力を注ぐ。3月には音楽バラエティ番組「関ジャム完全燃SHOW」（テレビ朝日）に出演。自身の「弟子、ピコツァ・鈴木・セブラーノさんは、ピコ太郎さんと日本武道館公演やサマーソニック2017で共演した。」